

赤穂市民病院経営検討委員会で協議をお願いしたい事項

1 昨年度は、新型コロナウイルス感染症という予期せぬ事情があったとは言うものの、市民病院の経営は大きく悪化しました。また、大幅な資金不足という事態となり、本年度は起債の発行が協議制から許可制に移行するなど、経営環境は大きく変化しております。

私は、このまま、現在の経営を継続したとしても、資金不足の解消は困難であるとの判断に至り、この度、これらの課題に即応するため、「経営検討委員会」を設置し、皆様方・有識者のお知恵を拝借して、経営形態の変更も含めた抜本的な見直しを行うことを決断したところであります。

2 この委員会では、

- ① 市民病院のあり方の検討におきましては、現在の赤穂市内の医療水準を落とさないことを基本に、まず、その確保をお願いしたいと考えております。
- ② 具体的には、赤穂市及び播磨姫路圏域における市民病院の診療機能や地域医療のあり方、また、市民病院の経営形態に関する事等についてご協議いただければと考えております。
- ③ なお、審議の結果につきましては、年末を目途に、ご報告をいただければと存じます。

3 厳しいスケジュールではございますが、何卒、よろしくお願い申し上げます。

令和3年8月23日

赤穂市長

病院事業管理者

牟禮正稔